



令和3年6月18日
発行 美保だいせん会

護国延命地蔵尊で53回忌法要 美保基地から2年ぶりに隊員が参列

5月11日(火)、島根県出雲市久多見町に所在する「護国延命地蔵尊」において第53回忌法要が執り行われた。

昨年、新型コロナウイルスの影響で法要に参加出来なかった美保基地からは、與儀基地司令以下14名の隊員が参加した。
今年の法要も新型コロナウイルスウィルス感染予防対策の観点から第8航空団(築城)の参加は見送りととなった。参加した美保基地隊員も感染対策を強化し、参加人数を減らすと共に全員に対して検温、消毒、マスクの着用を徹底した上での法要であった。



参列者全員で記念撮影



法要の様子

與儀司令が献花

次に参列者を代表して與儀美保基地司令が「昭和44年5月11日、美保基地航空祭のために美保基地に向かっていたF86F4機中3機が当地で激突、墜落し我々の先輩3名が尊い命を失いました。心より追悼の誠を捧げると共に、今日の我々、航空自衛隊が先輩方の尊い犠牲の上にあることを改めて肝に銘ずることを誓います。久多見、平田地域の皆様の殉職隊員へのありがたく温かいお気持ちにより延命地蔵尊が建立され、当時から半世紀以上を経た今に至るまで、そのお気持ちに連綿と引き継がれていることが、日々訓練に専心する我々自衛隊員に言葉に表すことが出来ないほどの大きな感激と勇気を与えて頂いています。護国延命地蔵尊維持委員会の皆様方、並びに関係者の皆様方の慰霊のお気持ち、お氣遣いに対して、この場を借りて深く感謝を申し上げます。また、コロナ禍の抑制された環境下にも関わらず法要を執り行って頂き、本日参加することが叶わなかった航空自衛隊第8航空団他、関係者の気持ちも含め改めて深く感謝申し上げます。我々は尊い犠牲を決して忘れず、また皆様の温かい想いに胸に秘め、飛行安全に細心の注意を払いながら国民の負託に応えるべく更なる精強な部隊づくりに専心致します。」(要旨)と感謝の言葉を述べた。

法要は地元、善福寺ご住職による読経の後、参列者全員により献花焼香が実施され53回忌法要を無事終了した。

基地モニターの方々に委嘱状を交付

與儀基地司令から7名の方々に手交

令和3年度の基地モニター委嘱式を4月21日(水)に開催し、ご都合で参加出来なかった3名を除く7名の方々に與儀基地司令から委嘱状を手渡した。
本年度の委嘱式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として基地資料館で開催した。

「この地域(美保基地)での勤務が初めてである私が地域の皆様のお考えを知り、地域の状況を理解することは、最も早くやらなければならぬ仕事だと考えております。そのためにも皆様にお力添えを頂くことが必要であります。基地モニターにつきましては地域の住民の方々が基地の運営について

3輸空隊副司令に

柴崎利幸1佐が着任

全隊員と共に隊司令を支える

第3輸送航空隊副司令に柴崎利幸1佐が第3術科学校(芦屋)から4月16日付で着任した。
19日(月)に実施された着任式で柴崎副司令は「再び、美保基地の皆さんと勤務出来ることを嬉しく思います。以前勤務していたので分かっているのではないかと思います。」(要旨)と着任の挨拶を述べた。



着任式に臨む柴崎新副司令



與儀基地司令から委嘱状をお渡しする



C2輸送機前で記念撮影

様々なご意見を言ってもらい、それを我々なりに改善し、より身近な基地になることを目的にしております。
今年度の美保基地航空祭は新型コロナウイルスの感染状況を鑑みまして開催を断念させて頂きましたが、モニターの皆様との関係はしっかりと守っていきたくと考えております。基地の運営状況を説明する機会等をしっかりと設けて、皆様には基地の状況を知っていただき、様々なご意見を頂戴出来るようにいたします。」(要旨)と着任の挨拶を述べた。

- 足立 いずみ様 松江市
- 飯塚 生美子様 安来市
- 小谷 考二様 松江市
- 中田 瑞穂様 西伯郡
- 引野 正之様 松江市
- 松永 裕治様 米子市
- 松本 和晃様 米子市
- 山崎 裕美子様 米子市
- 吉川 富巳子様 境港市
- 冬樹 様 境港市

来れば、我々と地域との絆が更に深まるのではないかと思います。是非ともご協力の程お願いします。
一年間モニターとしてご活動頂きますが、忌憚のないご意見を賜りますようお願い致します。」(要旨)と述べた。
基地モニター制度は周辺住民の方々に基地に対する意見や要望等を伺い、基地諸施策の改善及び向上に反映させるとともに、地域に密着した広報活動の推進を図ることを目的に設置され、任期は二年となっている。今年度のモニターは次の方々。(アイウエオ順)
準備全般として、①体温の保持、②水分摂取、③食糧確保と優先順位を付け、さらに私個人用と家族用の二つを準備している。個人用には通勤中や出先から登庁又は帰宅までに必要と思われる物を最小限携行出来るように用意をしている。家族用には食料や衛生用品、簡易トイレ、子供用のお菓子や紙おむつ、妻が必要な女性用用品等を数日分用意している。
災害に際しては、災害対策用品の確保とともに自宅周辺の避難場所や子供を連れての避難要領を確認しておくことも必要である。また、災害が発生していない普段の生活の中で、準備した物が有効に使える物であるか否かを検証してみることも必要なのではないだろうか。
私は以前、勤務していた東京で終電に乗ることが出来なくて職場から埼玉の自宅まで徒歩で帰宅するという経験をした。その時、経路上の危険見直しや必要な物を確認するという貴重な機会を得た。当時、妻は終電を逃したことに呆れていたが、私はとても良い経験となったことは言うまでもない。
災害時の家族への心配を減らし、任務に集中するためにも災害対策用品の準備はとて大切なことではないかと強く感じている。皆さんもしっかり準備することをオススメする。
【仁志川爾郎】



太田勝前副司令の 離任式を実施

南関東防衛局調達部首席検査官に栄転

4月16日付で、南関東防衛局調達部首席検査官に任命された前第3輸送航空隊副司令・太田勝1等空佐の離任行事を15日(木)、基地東グラウンドにおいて実施した。

離任式で太田1佐は「航空祭が開催出来なかった等、心残りもいくつかありますが、美保基地在任中は皆さんに支えられて楽しく勤務することが出来ました。本当にありがとう。次の職場も装備関係で美保基地とは繋がりがあつたのでしっかりとサポートしていきたいと思つています。横浜に来られた時は是非、事務所へ寄つて下さい。」(要旨)と離任の言葉述べた。

太田1佐は、在任中は明るい人柄と、ユーモアに溢れる軽快なトークで隊員たちをいつも笑顔にしてくれる素晴らしい存在であった。司



離任の辞を述べる太田前副司令



最後にポーズを決めて頂きました

菅島事故の経験を後世に！

OBが当時の状況を語る

4月19日(月)、小牧基地において、昭和58年に発生したC-1の菅島への墜落事故を体験した、美保基地OBの藤林達司さんに悲惨な事故について当時の状況を語って頂きました。美保基地の隊員約50名が貴重な機会に耳を傾けました。



講話する藤林OB



講話の様子

聞いて感じたこと、考察したことは、我々が後世に伝えていかなければならないことだと強く感じました。事故の記憶と教訓は決して風化させてはならない。これが残された我々の責務なのです。

今回の講話は、事故を経験した生の声を拝聴することで当事者意識を強くし、同じ事故を二度と起こして

会計隊が地上安全褒賞を受賞

連続受賞出来るようさらなる努力を！

4月15日(木)、基地業務群会計隊は地上安全褒賞を受賞した。

この表彰は平成30年4月10日から令和3年4月9日までの3年間連続無事故を達成したことにより表彰されたものである。

表彰式で與儀3輸送隊副司令は「会計隊の全隊員が高い安全意識を持って安全活動を推進した結果であると思う。しかし、今回の安全褒賞は通過点に過ぎないという事を全隊員がしっかりと」とコメントした。



與儀司令から褒賞状を授与される青木会計隊長

第403飛行隊庁舎移転完了

突然ですが、皆さんは第403飛行隊が引越したのをご存じでしょうか？元々は、旧管制塔が建っている施設にありましたが、この度、令和3年3月末に、新しく改修された資器材庫に引越しを行いました。これまでお世話になった旧403飛行隊庁舎との別れを惜しみつつ、約3日間をかけて引越業者と隊員全員で力を合わせて引越を行いました。なお、403飛行隊の思いの詰まった旧庁舎は、すぐに取り壊されるわけではなく、405飛行隊がしばらく使用する予定です。



新フリーフィングルームです

引越中ではこれまで隠れていた様々な物が発掘されました。例えば、今の滑走路が東側に延長される前の飛行隊の建物になって離れてしまいましたが、引越後は新しい庁舎となつて部屋も広くなり、班の全ての係が同じ部屋に集約され、空中輸送員の事務室も同じ建物となり、コミュニケーションが取りやすくなりました。

最後に、改修後の建物内の部屋を一部紹介します。今回、特に生まれ変わったのが、朝のモーニングレポート等に使用するフリーフィングルームです。写真のように明るく高級感のある作りとなつており、広くて綺麗な部屋になっています。

また、403飛行隊の新庁舎を見たことのない方や、もうすぐに見たいけれどもまだ見に行きたいという方、403飛行隊へ是非お立ち寄りください。403飛行隊員が温かくおもてなし致します。

(403SQ 松永1尉)

ぼくのお父さん！

義方小学校 6年 池田陽貴くん



ぼくのお父さんは、気象「いよ」と天気のことを教えてくれています。お父さんはお仕事で帰りがおそくなるので、いっしょにご飯を食べられない日があります。土日もしょしょに遊んでくれます。なので、たまにはいっしょに遊んでほしいです。お父さんはおこるととてもおこわいですが、でも、やさしい時はすごくやさしいです。ぼくが学校へ行く時「今日は雨がたたくさんふるから、くつよりも長くつで行った方がいいよ。」とか、「今日は雨が

ふらないから、かさはいらな



鬼滅の刃ですか？カッコいいですね

ないことをした時はきびしく注意されるけど、良いことをした時はほめてくれます。そんなお父さんが大好きです。これからもお仕事がんばってください。

池田和之曹長(二男)
(美保気象隊)

野外行動訓練を実施

護国延命地蔵尊周辺の環境整備

美保基地及び高尾山分屯基地は5月7日(金)、18名の隊員が参加し、島根県出雲市久多見町に所在する、護国延命地蔵尊周辺の環境整備を行った。同環境整備は、翌週11日に開催される53回忌法要を前に周辺の環境を整備することを目的として実施された。環境整備当日は、時折、小雨が降る中で実施された。

参加隊員たちは、護国延命地蔵尊と周辺道路、さらには同地蔵尊を挟んだ山の法面に生えた雑草や落ち葉等を丁寧に拾い集め、同地蔵尊周辺は清掃前とは見違えるほど綺麗になった。

環境整備には毎回、初めて参加する隊員がいるが、今回も同地を訪れるのは初めてという隊員は事前に、護国延命地蔵尊の建立の経緯や同地区在住の方が50年以上にわたり維持委員会を組織して同地蔵尊を維持している等の感想が聞かれた。



キレイになった地蔵尊前で記念撮影



山の法面もキレイにします

管理して下さっているということの説明を受けたうえで参加した。

環境整備に参加した隊員からは「新型コロナウイルスの影響で、昨年は隊員が法要に参加出来なかったため、今年は何とか開催して欲しいという思いで清掃を実施しました。今回の環境整備では地元の方々では清掃が大変な場所もあると思うので我々がしっかりと綺麗に出来たのではないかと思います。」等の感想が聞かれた。

突然ですが皆さん、野球は好きですか？私は愛知県出身で大の中日ファンです。実家に帰省すれば観戦に行っています。今回はそんな中日ドラゴンズの本拠地バンテリンドームナゴヤを紹介しよう。

バンテリンドームナゴヤは名古屋市中区にある球場で、約36000人を収容できます。今年、医薬品を手がける興和がネーミングライツ(命名権)を取得しナゴヤドームから変更になり話題になりました。アクセスは名城線ナゴヤドーム

「ドラゴンズファンの聖地」バンテリンドームナゴヤ



プロ野球観戦に行きたいですね

故事成語

No.241 薪水の勞
たきぎを集め、水もくむ、日常の炊事などの労働のこと。



職場紹介

チームワーク抜群の職場です！

整備補給群装備隊装備小隊列線分隊 新聞「だいでん」をご覧の皆さんこんにちは。

今回ご紹介する職場は「整備補給群 装備隊 装備小隊 列線分隊」です。列線分隊は分隊長以下14名で勤務しており分隊長は機上電子整備員で構成されています。

私たちの主な業務は航空機に搭載されているアビオニクスに関する機材の整備です。

アビオニクスとは「航空を意味する単語「Aviation」と「電子機器」を意味する単語「Electronics」を合わせた言葉です。

具体的には民間の航空機にも搭載されている無線装置や航法装置から自衛隊等の軍用機にしかないと電子戦、自己防御等に関わる器材まで整備する対象は多岐にわたります。



仲良く個性派集団集合

ごしらせやグッズ購入もできます。ドームの中、観客席に入ると、大迫力のフィールドとバックスクリーンの106メートル巨大モニターが迎えてくれます。選手が練習の声、応援団の音出しなどが試合前のわくわく感を高揚させてくれます。いざ試合が始まれば、かわいいうビールを飲みながら球場が

一体になり、応援歌を熱唱するのはとても楽しいです。今はコロナ禍の影響で入場人数制限や声を出しての応援などができず少し寂しいですが、コロナ禍が落ち着いたらファンの球団を応援しにぜひバンテリンドームナゴヤを訪れてみてはいかがでしょうか。

(美保気象隊 空士長 小柳 慧)

たり数も多いです。さらに器材一つひとつが高価で繊細な電子機器であるため常に慎重さや丁寧さが求められます。

また、安全に飛行するために欠かすことのできないものばかりであるため分隊全員が責任感を持って勤務しています。

このように緊張感のある職場ですが個人的な人が多くユーモア溢れる会話と

アットホームな雰囲気です。お気付きの方もいると思います。空曹と空士の仲も良くチームワークが必要な作業でも息を合わせて行い航空機が安全に空を飛べるよう整備を行っています。

最後になりましたが今後とも私たち装備隊 列線分隊をよろしく願います。

(装備隊 列線分隊 空士長 西田 聖惟)

「個性豊かな新メンバー」

飛行群第403飛行隊

- 柳下 和輝 3曹
- 野崎 隼 3曹
- 松橋 舞花 3曹
- 片桐 麗央 士長
- 江澤 誠治 1士

みなさん、こんにちは！ 今回の「ホープ登場」は第403飛行隊に新しく仲間入りした空中輸送員と飛行管理員の5名をご紹介します。

トップバッターは小柄だけれど熱いビッグハートの持ち主、空中輸送員の柳下和輝(やぎしたかずき)3曹！前部隊は、三沢基地の基地防空操作員。最近の彼は、仕事もプライベートも順風満帆で、トピックとしては、最近、レヴォークを新車で購入しました。TACネームは「ドラ」に決定したので由来を聞いてみては？

セカンドバッターはエンターテイナー、空中輸送員の野崎隼(のざきしゅん)3曹！前部隊は、与座岳分屯基地の輸送員。大柄な体格とは裏腹に愛車は可愛いコペン(笑)。ちなみに助手席はいつでも空いているので、ドライブに誘ってみては？面白



前列左から：松橋3曹 柳下3曹 野崎3曹
後列左から：江澤1士 片桐士長

トークで終始笑わせてくれること間違いなし！

サードバッターは数少ない女性空中輸送員の松橋舞花(まつはしまいか)3曹！前部隊は浜松基地の消防員。ホープに登場するのは、なんと2回目なのです。お気付きの方もいると思います。美保のファイヤーウーマンでした。一見クールな彼女ですが、お歌はかなりの腕前！コロナ禍が収束したらカラオケに誘ってみては？

4人目も空中輸送員で、いつもスマイル片桐麗央(かたぎりれお)士長！前部隊は三沢基地の警戒管制員。趣味は筋トレと食歩き。ビッグになろうとしている彼は、持ち前の明るさで今後シヨップを盛り上げてくれること間違いなし！

ラストバッターは403飛行隊一の長身、飛行管理員の江澤誠治(えざわせいじ)1士です。出身は千葉県船橋市で前職はカメラマン。彼に撮影をお願いしたらどんな被写体でも美しく撮ってくれますよ。とっておきの一枚が欲しい方は、是非彼にお願いしてみても如何でしょうか。

以上、個性豊かな5名が揃いました！今後の403飛行隊を背負って立つ5名の活躍がとも楽しみみです。(403SQ 太田3曹)

いつでもお越しください



令和3年2月23日(火)、旧事務所からの移転を完了し、新事務所での運用が開始されました。

塔西側にある以前、整備補給群本部が使用していた建物で、改装工事を経て我が飛行場勤務隊と美保気象隊が業務を実施しています。

総括班、飛行管理班、外来機支援班の3つの班で構成される飛行場勤務隊は、川井3佐以下16名(兼務配置を含む)の隊員で空の玄関口として、航空機が安全に運航できるよう24時間態勢で勤務しています。



新しい看板を設置



新事務所前での記念撮影

航空機の離発着に影響がないか、また猟銃を使用している鳥獣駆除、外来機の誘導や整備支援など様々な業務を受け持つ職場です。

今回、新しい看板と神棚を設置した飛行場勤務隊は日々、空の安全確保に全力で取り組んでいます。事務所が新しくなったことを良い機会として心機転、皆様のお役に立てるよう更なる努力していきたいと思っております。

お時間のある方は新しくなった飛行場勤務隊の事務所には是非一度お越しください。

美保管制隊が地上展示機を清掃



4月14日(水)、美保管制隊は「挨拶・清掃・身だしなみ運動」の一環として、展示機の清掃を実施した。

本清掃は、全国の管制群でも実施されています。

展示機の清掃は、清掃に参加した隊員たちは用意されたブラシやモップ等を使用して長期間風雨に晒されて埃にまみれていた地上展示機を丁寧に清掃してくれました。

久しぶりの清掃できれいになった機体を見た隊員たちは笑顔で清掃活動を終了しました。



キレイにして頂きありがとうございます

家庭訪問

基地業務群施設隊 欣也さん宅の巻
中野 智美さん宅の巻
「官舎の皆様、毎日お騒がせしております」

本日、お邪魔するお宅は、コチラ!!白をベースとしたシンプルな外観、モダンな階段を上っていくと、見えてきました。オレンジの玄関ドア!

そう!!施設隊の中野2曹のお宅です。※実際には行っていませんが官舎です(笑)

美保基地は6年目という中野家の皆さん、さっそく話を伺っていきましょう。

まずは、家族構成から、一家の大黒柱、中野欣也(きんや)さん、中野家の総司令官、奥様の智美(ともみ)さん、目力最強!!長男の橙(だいぢ)くん、色白ヤンチャBOY二男の悠葵(ゆうき)くん、特技は高速おしりフリフリ三男の慧紫(けいし)くん総勢5人の元氣杯家族です。



奥様から一言「お酒の飲み過ぎには、くれぐれも気を付けてください!!」とのこと。

「はい!!中野2曹!!」

中野2曹から一言「毎日ワーギヤ官舎をお騒がせていますが、暖かい目で見守っていただけると幸いです。」

このように明るく楽しい中野家の皆さん、これからも笑顔いっぱい幸せいっぱいありますよぉ。



左から：三男 悠葵くん 三男 慧紫くん 長男 橙知くん

ふるさとパンザイ

「温暖な気候と温かい人々」宮崎県児湯郡の2つの町



装備隊 列線分隊 空士長 小城 龍太郎

こんにちは! 装備隊のムードメーカー係を務めています地元の川南町で

元大好き小城市長です!宮崎の観光地のはみなさんよく知っていると、私の出身地である宮崎県児湯郡の2つの町を紹介いたします。



川南電飾大作戦の様子

初めに私の地元の川南町で

元大好き小城市長です!宮崎の観光地のはみなさんよく知っていると、私の出身地である宮崎県児湯郡の2つの町を紹介いたします。

川南町は日本三大開拓地の中で、開拓時に全郡道府県から人が集まったため「川南合衆国」の呼び名があります。宮崎県の畜産業の中心であり、漁業も農業も盛んな町です。そんな川南町には信じがたいことに、「銀座」・「赤坂」・「六本木」といった東京の歓楽街を冠した地名があり、中でも川南の中心街がある地名は「ロントロン」といいます。珍しい地名ということでも「秘密のケンミンSHOW」でも紹介されたとか。

次は児湯郡の経済の中心地高鍋町です。高鍋町は江戸時代から城下町として栄えてきました。おいしい飲食店や居酒屋がたくさんあります。



のんびりした雰囲気の高鍋城址

職人が一つひとつ丁寧に包んだジューシーな名物「高鍋ギョーザ」を堪能しつつ、麦焼酎「百年の孤独」を喉に通せば嫌なことなど忘れて幸せに浸れるでしょう。

青い海と豊かな自然、温暖な気候に温かい人、おいしい食べ物とお酒の国、宮崎県は訪れた人を虜にする素晴らしいところなんです。

梅雨

今年例年より早い梅雨入りとなりました。梅雨が明けると、あっという間に夏の到来ですね。

第2の人生お元気で

5月19日 沼澤 信昭3尉 5月20日 黒田 一志准尉

住所 鳥取県境港市

住所 鳥取県米子市